

科目名	生活産業情報	学年	1年	使用教材	【教科書】 家庭情報処理 実教出版
		必修			【副教材】 アパレルCAD実習手引書
		単位数	2単位		

#### 学習目標

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報処理に関する知識と技術を修得させ、生活産業の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。

#### 学習方法

- 実践的な学習活動を通して、情報処理の重要性について理解するとともに情報処理の基礎的技術を総合的にとらえていくことに努める。
- 生活産業で使用されているコンピュータや高度情報処理社会の基盤であるインターネットについての課題や問題点について学び、自分自身の関わり方を考え実践する。
- アパレルCADについての基本操作を学習し、学習した内容が確実に自分のものとなるようより深い理解をめざして取り組む。

#### 学習評価

- 次の4つ観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。

①関心・意欲・態度	情報の活用方法の基礎、発想と表現法などについて関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、情報化社会に必要な実践的な態度を身に付けようとしている。
②思考・判断	家庭情報処理の基礎、発想と表現法などについて見直し、情報処理技術を適切に行えるよう思考し、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。
③技能・表現	家庭情報処理の基礎、発想と表現法や、特に衣生活分野での情報処理の活用に必要な基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。
④知識・理解	家庭情報処理の基礎、発想と表現法や、高度情報化社会に対応できる基礎的・基本的な知識、またアパレル CAD に関する基本的な技術を総合的に身に付けている。

- 学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーション</li> <li>○ 第1章 高度情報通信社会とコンピュータ <ul style="list-style-type: none"> <li>1 私たちの社会と高度情報通信社会</li> <li>2 生活とネットワーク</li> <li>3 生活産業とコンピュータ</li> </ul> </li> <li>○ 第2章 高度情報通信社会への対応の仕方 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 高度情報通信社会の発展にともなう課題</li> <li>2 情報通信ネットワーク上のルールとマナー</li> <li>3 情報通信ネットワークとセキュリティ</li> </ul> </li> <li>○ 第3章 コンピュータの機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータの基本的な仕組み</li> <li>2 ハードウェア</li> <li>3 ソフトウェア</li> </ul> </li> <li>○ 第4章 情報の処理 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 日本語ワードプロセッサによる情報の処理</li> <li>2 表計算ソフトによる情報の処理</li> <li>3 画像処理ソフトによる情報の処理</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生活産業情報」を学ぶに当たって、学習の意義や内容、学習方法や評価の方法、コンピュータ教室の使い方、コンピュータ利用の注意事項について理解させる。</li> <li>○ コンピュータの種類・活用方法・注意事項について理解させ、情報社会に対応できる知識に触れさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書、ワークシートを通して、高度情報化社会への対応について理解する。</li> <li>【学習状況観察】</li> <li>【ワークシート】</li> <li>【定期考査】</li> <li>【自己評価】</li> <li>【作品】</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5章 情報の収集・処理・発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 通信ネットワークを利用した情報の処理</li> <li>2 プレゼンテーションソフトを利用した条法の発信</li> <li>3 ホームページ作成ソフトを利用した情報の発信</li> <li>4 電子メールソフトを利用した情報の受信・発信</li> <li>5 さまざまな分野での利用</li> </ul> </li> <li>○ 第6章 生活産業とコンピュータ <ul style="list-style-type: none"> <li>1 シミュレーションシステムの活用</li> <li>2 データベースシステムの活用</li> <li>3 生産管理システムの活用</li> <li>4 アパレル CAD の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>①アパレル CAD についてのオリエンテーション</li> <li>②基本操作マニュアル（基本編）</li> <li>③基本操作マニュアル（スカート応用編）</li> <li>④基本操作マニュアル（シャツ応用編）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報通信ネットワークや日本語ワードプロセッサ、表計算、画像処理、プレゼンテーションなど各ソフトウェアを活用し、衣生活分野での利用方法を理解させる。</li> <li>○ アパレル CAD システムを学ぶに当たって学習の意義や内容、学習方法を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書、ワークシート、実習を通して、インターネット、プレゼンテーションソフト、ホームページの概要、画像処理ソフトまたアパレル CAD の基本的な操作について理解する。</li> <li>【学習状況観察】</li> <li>【ワークシート】</li> <li>【定期考査】</li> <li>【自己評価】</li> <li>【作品】</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 アパレル CAD の利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>①原型について</li> <li>②原型作成</li> <li>③原型の縫い合わせ</li> <li>④原型の応用（シャツ原型作成）</li> <li>⑤スカート原型作成</li> <li>⑥自由課題</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アパレル CAD を利用して個人の型紙を作成できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手引書やワークシート、実習を通して、アパレル CAD の応用利用について理解する</li> <li>【学習状況観察】</li> <li>【ワークシート】</li> <li>【自己評価】【作品】</li> </ul>